

空調タイムス

2020年4月15日(水)

第 2818 号

桃陽電線さいたま工場

ライン本稼働へ



奥田 康信社長



芳野 訓弘事業部長

[大阪] 空調関連部
の総合メーカー、桃山電機
線（社長：奥田康信氏）
本社・大阪市天王寺区
は、生産体制強化に乗り
出していたさいたま工場
(さいたま市岩槻区)に
おいて、昨年暮れ導入し
た被覆銅管コイル製品生
産ラインの試験生産を終
え、本格稼働に入った。
同社は2018年、同工
場に4本定尺直管製品
生産ラインを構築。今回
のコイル製品生産ライン
は、これに続くもので被
覆銅管コイル製品を生産

としており、今後さらに生産ボリュームの拡大を目指す方針。

する天理工場（奈良県天理市）、直管製品を生産する八尾商品センター（大阪府八尾市）と並んで東西でコイル製品・直管製品を生産・供給できる体制が整った。同社では「安定した商品供給

し、効率の良い変種変量の計画生産を可能とした。さらにライインスピードの向上を図り生産能力を高めている。

広島営業所を移転

桃陽電線は広島営業所

を移転、3月23日から新事務所で業務を開始した。新住所は広島市安佐南区八木(電話082-846-5287、FAX082-846-5528)。同社は中四国・九州エリアを管轄する西日本事業部(事業部長川野訓弘氏)を広島営業所内に置く。「中四国地区は大型の再開発案件が複数あり、今後の発展を考えると拠点機能の拡充強化は不可欠。延床面積は以前の約3倍、立地も広島インターに近く、また梅林駅(JR西日本可部線)から徒歩すぐと利便性も高く物流効率も上がった。(同)こと、今回の移転に踏み切った。